

# 物流システム

## 図書館から図書館へ、本を運ぶ「連絡車」

本の「情報」は、各図書館へ「横浜市立図書館情報システム」が届けます。

一方、図書館から図書館へ「本」を届ける「物流システム」を担うのは、本を載せて走る「連絡車」です。予約が入った本を取り寄せるのも、他の図書館に返却された本を元の図書館に戻すのも、この車の役目です。

各区の図書館から本はいったん中央図書館に集められ、その後中央図書館から各区の図書館へと、一日一往復、ふだんは5コースに分かれて本を運びます。

中央図書館の配送室では、全館から送られてきた本の仕分け・発送を、日曜・祝休日、年末年始を除く毎日行っています。



### ← ■ 配送室（中央図書館）

全館から本を入れたコンテナが届きます。

※コンテナ一つに、本は単行本だと40冊程度入ります。



### 【連絡車の一日】

<午前中>

- ①各コースの市立図書館を回り、本を入れたコンテナを集めます。
- ②中央図書館に到着。コンテナを降ろします。
- ③図書館ごとにコンテナをまとめて積み込みます。

<午後>

- 午前のコースを逆にたどり、市立図書館へコンテナを届けます。



### ↑ ■ 連絡車

2トントラック5台が、ほぼ毎日市内を巡回しています。